



発行所 立命館大学新聞社
発行人 阪田 裕介
〒603-8577 京都市北区等持院北町
56-1 立命館大学学生会館2F
直通 075(465)8253
内線 2610
〒525-8577 草津市野路東1-1-1
立命館大学セントラルアーク 4F
e-mail so0405he@ed.ritsume.ac.jp

情報は社会部へ

電話・FAX
075(465)8253
e-mail
so0444xe@ed.ritsume.ac.jp

情宣は文化部へ

電話・FAX
075(465)8253
e-mail
lt0545vi@ed.ritsume.ac.jp

11月号

今号の紙面

- 盗電問題を考える...2面
ミュージカルサークル始動...4面
連覇を懸けた立同戦...5面
学生映画祭開幕近づく...6面

喫煙可 学内管理エリア設置へ

「全面禁煙は堅持」強調

キャンパス全面禁煙施行から1年半になる。喫煙者の減少など効果もみられる一方で隠れての喫煙や近隣の路上喫煙が目立つようになった。特に衣笠キャンパス近くの路上での喫煙は火災のリスクが高く問題となっている。これを避け、大学は火災防止の観点から衣笠キャンパス内に管理エリアを設置している。2面に関連記事

立命館大は学内での受動喫煙を防止することを目的に、2013年度よりキャンパス全面禁煙を施行している。全面禁煙から1年半が経ち、一定の成果も表れている。08年度には9・7%であった同大の学生の喫煙率は13年度には3・8%にまで下がっている。その一方で、深刻な課題も浮き彫りになってきた。学内では人の少ない場所での喫煙、学外ではキャンパス近くの路上での喫煙が増えている。昨年度と同様に禁煙指導を行う近隣の寺院からは「キャンパス全面禁煙以降に大量のたばこが投げ込まれるようになった」といった指摘があるように一部では非常に悪質なケースも見られ、もはや看過できない状態となっていた。



学生たちが声を出してキャンパス全面禁煙を呼び掛ける＝10月24日午後、BKCユニオンスクエア前



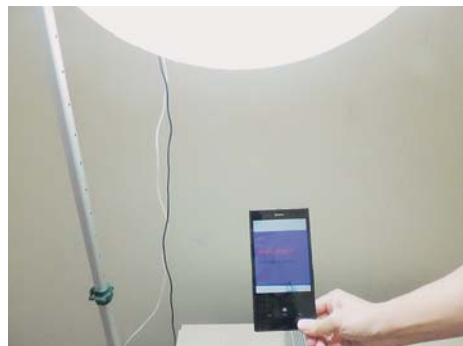
存心館裏側に設置された管理エリアの衣笠

これらの問題を受け、衣笠キャンパスでは後期セメスター開始の9月26日より近隣の火災防止を目的に管理エリアを設置している。設置場所は3カ所、いずれも受動喫煙のリスクが少ないキャンパスの隅に位置している。BKCでも今後の設置を予定している。今回の管理エリア設置はあくまでも一時的なものであり、キャンパス全面禁煙はこれまで通り継続していくという。

学生オフィス(BKC)課長の村上吉胤さんは「キャンパス近くの路上と管理エリアの吸い殻の増減などをみて効果があると判断した際には撤去する予定」と話す。実際に設置後から路上と管理エリアの吸い殻本数をカウントしており、セメスターごとに増減を算出していく予定だ。全面禁煙政策を堅持する大学としては「早い撤去を望んでいる。管理エリア設置後も従来通り近隣の路上喫煙は警備員や職員から注意をするとしている。寺院への吸い殻投げ込みへの対策も検討中である。」

LEDでスマホの盗撮防止

熊木講師研究グループ



LED照明とスマートフォンの連動で写真撮影を防止

近年、カメラ内蔵の携帯電話の普及で、盗撮や本を撮影するシステムを開発し、店頭で撮影するデジタル万引きが深刻な問題となっている。立命館大理工学部電子情報工学科の熊木武志講師の研究グループはLED照明とスマートフォンの内蔵カメラが探られていたが、カメラ

このシステムの開発により、スマートフォンによる盗撮防止が期待される。これまでは撮影防止シールをレンズに貼るといった方法が採られていたが、カメラの機能そのものを制御する仕組みはなかった。LED照明は照度の強弱が絶えず変化しており、開発されたシステムではその変化を検知して作動する。レンズ付近で可視光の変化を検知し、検知した場合は撮影を阻止するシステムだ。実用化に当たっては課題も多い。LED照明の照度変化による違和感の解消や、盗撮ではない健全なカメラの使用を可能にするなどが挙げられる。

喫煙マナー考えるきつかけに

学生ら中心に呼び掛け

火災防止のための管理エリア設置後も近隣の路上喫煙、さらにはエリアの外で喫煙をする学生が見受けられる。これを受け、10月14日から10日間わたって両キャンパスで啓発キャンペーンが行われた。大学職員と学生会を中心とする学生がキャンパス全面禁煙について呼び掛けを行った。BKCでは昼休みにユニオン

(松田貴之)

海神

スコットランドの独立住民投票に注目が集まってから約2カ月。結果として独立はならなかったが、独立に向けた運動は世界中に衝撃を与えた。友情的杯を飲み交わそう。スコットランド民謡「オールド・ラング・サインの」一節である。旧友との再会に昔をしのびつつ杯をあげる光景がありありと思いつく。日本では「蛍の光」として親しまれるこの歌は、別れの歌としての印象が強い。一方、スコットランドでは再会を喜ぶ内容となっている。みんなで輪を作り、曲に合わせて踊るのが習慣だそう。NHKの朝の連続テレビ小説「マッサン」のテーマはウイスキー。本場で知識を得るため、スコットランドへウイスキー修行に出た青年が現地の婚約者と日本へ帰国するところから話は始まる。大正時代には珍しい国際結婚も注目したい点だ。スコットランド人の妻エリは、姑から受け入れてもらえない日々を暮らす。そんな状態でも、めげずに自分を認めてもらおうとする。自分なりの女性力強さを感じないでいられない。近頃の若者は、お酒を介したコミュニケーションが希薄になったといわれる。消費を控えるようになり、お酒離れの傾向があるという。せつなく秋の夜長だ。秋の風情に包まれて、遠慮なしに酔いしれたい。もちろん、友人と酌み交わせばなおよい。酒宴を盛り上げるのは、やはり歌に限る。遠い異国を思い浮かべながら、蛍の光でも歌ってはどうだろうか。



3面 ロフト部発定

立命館大と株式会社ロフトの産学連携を受け、学生による「ロフト部」が発定された。9月下旬には部員によるアイデア発表が行われ、本格的に取り組みが始まることとしている。ロフト部リーダーの廣瀬堅人さん(法2)に意気込みを聞いた。

これからの上映作品

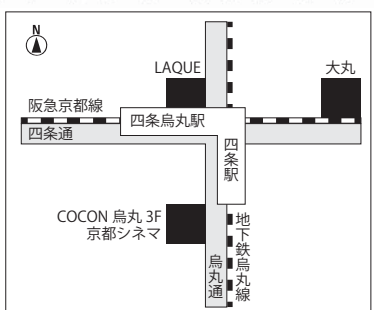


天才スピヴェット
配給:ギャガ
11月15日(土)公開



京都シネマ
10年の10本
11月22日(土)より

京都シネマ KYOTO CINEMA



四条烏丸下る西側COCON烏丸3F
阪急京都線「烏丸」駅下車23番出口よりすぐ
市営地下鉄烏丸線「四条」駅下車2番出口よりすぐ

大学生以下: ¥1,000
TEL: 075(353)4723

www.kyotocinema.jp/

11月14日(金)
18時45分(予定)

@衣笠充301

当プロジェクトと京都シネマ、京都国際学生映画祭とコラボしたイベントを開催!

詳しくは
ツイッター@rits_kyocine

「映画館とは?地域の中の役割」プロジェクト